深ボリ！

企業のチカラ

第68回 株式会社小原鉄筋工業

今回は、株式会社小原鉄筋工業を「深ボリ！」。代表取締役社長の小原聡裕（こはらとしひろ）さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は先代の社長が昭和43年に旧川内市で創業しました。建造物の基礎となる鉄筋コンクリートの鉄筋工事を専門としています。

鉄筋コンクリートは自然災害に強いため、ビルやマンション、橋、トンネルなどのあらゆる建造物に使われており、暮らしの安全安心を支えています。

当社は本市で、九州新幹線関連工事をはじめ、SSプラザせんだいやセンノオトの駐車場、その他の多くのマンションやホテルなどの基礎工事に携わってきました。

▲小原代表取締役（前段左から３番目）と社員の皆さん

▲鉄筋工事の様子

「人財」育成を大切に

当社では、「社員の成長は会社の成長」との理念を掲げています。将来の財産である「人財」育成のために、社員が何事にも楽しくチャレンジできる職場づくりに努め、多くの設備投資を行っています。

また、未経験者への育成にも力を入れています。入社してから1カ月間の研修を行い、仕事の知識を身に付けた後、半年間は先輩社員とペアを組んで一緒に現場に出て、実践を重ねていきます。

その他、資格取得の補助制度も充実させることで、仕事に必要な技術を習得しやすい環境を整えています。

今後の抱負

これまでさまざまな現場で培った技術や知識を集約して業務に反映することで、品質と安全性を高めた施工を実現していきます。また、その技術や知識を若い社員へ継承していきます。そして最新技術や機械を導入することにより、鉄筋の再利用を促進し、社会と共に成長を続けていきます。

▲㈱小原鉄筋工業　川内支店

株式会社小原鉄筋工業 川内支店

－ Information －

代表者：代表取締役　小原聡裕
所在地：平佐町3539番地1
従業員数：57人
連絡先：(23)6050

ホームページ▶

社員からのメッセージ

入社４年目
岩元哉太（いわもとかなた）さん

入社当時はできないこと、分からないことが多くありましたが、上司や先輩から教わりながら仕事をしてきました。建造物は長くまちに残るもので、自分の関わった建造物が長く人の役に立つことを考えると誇らしい気持ちになります。

今は職長を任され、現場を取り仕切れるようになりましたが、もっと高みを目指して勉強に励んでいます。

UD FONT

まちの話題

朝陽ワイナリーのロゴデザインを提案

６月20日（木）、川内商工高等学校で、同校インテリア科３年生14人が、「朝陽ワイナリーロゴデザインコンテスト」審査会に臨み、それぞれが考案したオリジナルデザインを発表しました。

同コンテストは、ワイン作りを通して社会課題の解決へ取り組んでいくことを、未来を担う地元高校生と共に考えたいと企画されました。

【情報提供：川内商工高等学校】

チーム一丸一戦必勝

６月21日（金）、川内スラッガーズの選手30人と指導者が、表敬訪問しました。

５月に開催された「第37回夏季九州選手権南部地区連盟予選大会」中学の部で８年ぶり５回目の優勝を果たしました。また、６月に開催された「ジャイアンツカップＣブロック決定戦」と８月に開催される「2024ホークスカップ」、「第37回全九州硬式少年野球鹿児島大会」の出場を報告しました。

江口（えぐち）主将は、「良い報告ができるように一戦必勝、全力プレーで頑張ります」と力強く誓いました。

すぐに役立てられる講座に満足

６月21日（金）、少年自然の家で、地域指導者養成講座を開催しました。

27人の参加者が、職員と一緒に、じゃんけんを使った児童向けのレクリエーション活動や、やすりで削って作る木工ペンダントなどの創作活動の研修を行いました。この研修を通して親睦を深めると共に、子どもとの関わり方を学ぶことができました。

川内大綱引を未来へ”綱”ＧＯ！

６月30日（日）、ＳＳプラザせんだいで、市誕生20周年記念「川内大綱引を未来へ”綱”ＧＯ！」を開催しました。

これは、川内大綱引の国重要無形民俗文化財指定を記念したイベントで、映画「大綱引の恋」の特別上映や、俳優の升毅（ますたけし）さんによる舞台挨拶などが行われました。

また、太鼓体験や川内大綱引で使用する道具の展示などもあり、約500人の来場者が川内大綱引を満喫する１日となりました。

「社会を明るくする運動」メッセージを伝達

７月１日（月）、本庁で、薩摩保護区保護司会と川内更生保護女性会が、内閣総理大臣および鹿児島県知事からの「社会を明るくする運動」のメッセージを伝達しました。

これは犯罪のない明るい社会をみんなで目指すための運動で、犯罪や非行の防止と、再犯防止に向けた取り組みなど、誰もが安全で安心して暮らせる社会実現のための連携を確認しました。

車椅子を寄贈していただきました

７月２日（火）、陸上自衛隊川内駐屯地曹友会（そうゆうかい）、航空自衛隊下甑島分屯基地准曹会（じゅんそうかい）から、チャリティ活動の収益の一部還元として、車椅子１台の寄贈がありました。

寄贈いただいた車いすは、本庁舎を利用される市民の皆さんのために活用させていただきます。

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。